

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額393億6,200万円に対して、決算額397億947万円（執行率100.9%）で3億4,747万円の増となった。主な内訳をみると、広告料が、予算に比べ4億4,355万円減少している一方で、収益的収入の約8割を占める運輸収益（乗車料収入）が、予算に比べ6億6,090万円増加している。

収益的支出は、予算現額417億6,200万円に対して、決算額392億5,273万円（執行率94.0%）であり、不用額は25億926万円となっている。その主な内訳は、修繕費、光熱水費、固定資産除却費などである。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額256億5,703万円に対して、決算額239億8,303万円（執行率93.5%）で16億7,400万円の減となっている。これは、建設改良費の繰越し等による減に伴い、その財源となる企業債、出資金及び国庫補助金等が減少したことなどによるものである。

資本的支出は、予算現額395億524万円に対して、決算額361億8,276万円（執行率91.6%）となっている。差額33億2,247万円のうち、11億9,089万円が翌年度への繰越額で、残り21億3,158万円が不用額となっている。これは、主に建設改良費の減によるものである。

なお、建設改良費は、予算現額144億4,324万円に対して、決算額は111億4,356万円（執行率77.2%）となっており、主な内訳は次のとおりである。

・真駒内駅耐震改修工事	17億7,891万円
・南郷変電所変電設備更新工事	7億4,839万円
・北34条駅他14駅改札機製造	4億4,110万円
・CTC装置更新工事（南北線・東西線・東豊線）	4億2,064万円
・東豊線栄町駅ほか6駅無停電電源設備更新工事	4億1,210万円
・東西線防災集中監視装置更新工事	3億8,750万円

企業債償還金は、249億5,160万円で、資本的支出の69.0%を占めている。

当年度決算における資本的収入額が資本的支出額に不足する額121億9,973万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8億7,839万円、繰越工事資金1億9,420万円及び当年度分損益勘定留保資金等111億2,712万円によって補填されている。